



新富士ロータリークラブ会報

Rotary Opens Opportunities
— ロータリーは機会の扉を開く —

R I 会長 ホルガー・クナーク
第2620地区ガバナー 志田 洪 顯
新富士 R. C. 会長 梅谷 明子
幹事 本多 脩身

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎月第2・3・4火曜日
12:30~13:30



第1378回例会 (2020. 10. 20)



司会 高橋 孝行会場監督
ソング 「我等の生業」

四つのテスト唱和・本年度新富士RCテーマ唱和
RI テーマ唱和

会長挨拶

こんにちは。11月にロータリー財団月間を迎える前に、本日は卓話「ロータリー財団」についてロータリー財団委員会副委員長 望月様、ロータリー財団委員会委員 大澤様にお話を伺います。

7月19日にロータリー財団セミナーに参加しました。その時にロータリー財団とは、「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で何かよいことをしようではないか」との提案からできたと聞きました。

私たちは毎年ロータリー財団に寄付をしています。集められた大切な寄付が、どのように運用、活用されているか？基本に戻って財団の必要性をお話していただければと思っています。

今回は私の希望で卓話をお願いしました。セミナーに参加した時に、知っているようで知らない私がいました。

望月様、大澤様には快く快諾していただき、ありがとうございます。

短い時間になりますが、卓話よろしく願い致します。



▲会長挨拶
梅谷明子会長



▲幹事報告
本多脩身幹事

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1378回	19	14	5		暫定73.86%

《本日の欠席者》

赤渕 浩雄君 川村 武君 久保田元久君
仲澤 千尋君 渡邊 哲男君

ゲスト

第2620地区ロータリー
財団委員会副委員長 望月 啓行様
補助金小委員会委員 大澤 能孝様

私のスマイル

梅谷 明子君 本日は、ロータリー財団の卓話です。望月様、大澤様よろしく願い致します。
本多 脩身君 望月様、卓話宜しく願いします。
和田 三郎君 久しぶりの例会で忘れそうになりました。
高橋 孝行君 和田先生永い期間ありがとうございました。今日から復帰致します。よろしく、お願い致します。
小山 哲君 本日は望月様、大澤様よろしく願いします。
長原 幹君 富士山には雪があったほうが良いですね。
堀井 健治君 先週、観月会参加できなくて残念でした。
潮来 克士君 本日の卓話、望月様、大澤様よろしく願いします。

プログラム予定

11月1日(日) サイエンスプロジェクト
(吉原まちづくりセンター)

11月17日(火) 音楽会または30周年記念誌
委員会15周年プレゼン

ロータリー財団について



第 2620 地区ロータリー
 財団副委員長 望月 啓行様
 地区補助金委員 大澤 能孝様

新富士ロータリークラブ様
 2020-2021 年度 2620 地区
ロータリー財団について

2020年10月20日(火)
 2020-2021 2620地区 財団委員会
 副委員長 望月啓行(静岡)
 補助金小委員会委員 大澤能孝(富士宮)

ロータリー財団とは 

「世界でよいことをするために、、、」


 1917年、第6代会長アーチ・C・クラフがアトランタの国際大会で、「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案。これが、ロータリー財団をつくるきっかけとなった。

ロータリーと財団 奉仕について① 

ロータリーの目的:意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励すること。

1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーと財団 奉仕について 

ロータリーは機会の扉を開く


 2020-21年度
 ホルガー・クナウ会長

ロータリーは、奉仕プロジェクトを実施し、やり遂げる機会を与えてくれます。これらは、意義があり、持続可能なプロジェクトです。ロータリーでは、寄付だけでなく、奉仕活動も行い、その奉仕がもたらす持続可能なインパクトをこの目で見るすることができます。これは、他にはない機会です。

ロータリー財団 

ロータリーは奉仕する団体
 (ロータリーが社会的価値の高い団体でありつづける為)
 ↓
 奉仕活動には資金が必要
 ↓
 資金を集め再配分するのがロータリー財団

ロータリー財団 → 寄付 → ロータリアン → 奉仕 → 世界平和 → 地域作り

ロータリー財団の奉仕事業の方向性 

ロータリー財団の使命: 世界でよいことをしよう
 ロータリー財団の使命: ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を解消することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

6つの重点項目 (健康・教育)
 (2021年7月現在の重点項目)

- ① 平和構築と紛争予防
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率向上
- ⑥ 地域社会の経済発展

ロータリー月間と6つの重点項目

ロータリー特別月間	
7月	1月 職業奉仕月間
8月	2月 平和構築と紛争予防月間
9月	3月 水と衛生月間
10月	4月 母子の健康月間
11月	5月 青少年奉仕月間
12月	6月 ロータリー親睦活動月間

6つの重点項目

2月 基本的教育と識字率向上
 3月 平和構築と紛争予防
 4月 水と衛生月間
 5月 母子の健康月間
 6月 地域社会の経済発展

2021年 7月現在の重点分野「健康の保全」追加

最重要活動 ポリオ・プラス 

ポリオとは
 日本では小児麻痺とよばれ、ウイルスに感染し麻痺が起ると手足に力が入らなくなり、現在は治療できない。ワクチン接種で免疫抗体を自動的に獲得しておくのが最善。かつて日本でも年間1500~2000人の患者が発生していたが、1967年にポリオ生ワクチンが開発。1981年に緊急事態解除されている。

ポリオ・プラス
 ロータリーは1979年より、ワクチン投与を開始、40年近くの継続事業。
 その後麻痺症・ジフテリアなど5つの感染症を加え「ポリオ・プラス」になる
 現在、ナイジェリア・アフガニスタン・パキスタンの3か国だけ残る。
 財団基金の約半分が使われている。
 今後は不活化ワクチンの注射での接種一貫面での支援

「ポリオのない世界まで あと少し」